



議会だより

2007
平成19年

4月25日発行

No.104

- 発行...太良町議会編集委員会
- 〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151
- <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



5月1日 たらふく広場

平成19年度 一般会計予算 46億8,700万円

平成18年度 一般会計決算比(見込) 9,164万円(2%増)

議会会議録がインターネットで見られるようになりました。

太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

会期3月5日～19日(15日間)

一般会計予算

主な事業

- 乳幼児医療費助成 1,998万円
- 町道大野線橋梁改築費 3,200万円
- 大浦中学校体育館建設費 2億8,590万円



新町長定例議会挨拶

本年2月に町長に就任いたしました岩島正昭でございます。

町長就任後の最初の議会だよりの発行に寄せて、ごあいさつさせていただきます。

「町執行部と議会は行政を推進す

る車の両輪のごとくあれ。」これは、私が町職員であった頃から諸先輩からたびたび訓示されてきた言葉でありました。

最近では、市町村合併問題、JR長崎本線存続問題と地域振興策など町の行く末を左右する大きな行政課題について、百武前町長と議会の決断により一定の結論が導き出されました。今後はこの決定に基づく対応が町の行く末を決定付けるものと考えます。その意味でこれらの行政課題はいまだ道なかばであると認識し、その責任の重さを改めて痛感しております。また、太良町は行財政改革、少子高齢化への対応、地方分権に伴う自己責任能力の強化、地場産業の振興と地域経済の活性化など多くの課題が山積しております。

今後とも議会と執行部が互いに行政推進の両輪の任を全うし、これにあたることができばと思っております。議会議員の皆様をはじめ住民の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

3月定例議会

平成19年度当初予算

1. 各会計別総額

(単位：千円)

会計別	19年度	18年度	比較	19年度 構成比	増減率
一般会計	4,687,000	4,415,000	272,000	50.8	6.2
山林特別会計	35,000	26,000	9,000	0.4	34.6
老人保健特別会計	1,580,000	1,351,000	229,000	17.1	17.0
国民健康保険特別会計	1,775,000	1,553,000	222,000	19.2	14.3
町立太良病院事業会計	952,405	1,231,764	279,359	10.3	22.7
簡易水道特別会計	78,600	84,000	5,400	0.9	6.4
水道事業会計	69,660	68,750	910	0.7	1.3
漁業集落排水特別会計	52,500	47,600	4,900	0.6	10.3
総計	9,230,165	8,777,114	453,051	100.0	5.2



平成十八年度一般会計
補正予算
(専決処分)

補正予算の主なもの

故百武 豊氏追悼式
運営委託料三百万円、町
長・町議会議員補欠選挙
費六百七十六万二千円。

補正後の一般会計予算
の総額は歳入歳出それぞ
れ四十七億三百十六万円。

太良町副町長の定数を 定める条例の制定

地方自治法の一部改正
に伴い、副町長(助役)
の定数を定める条例の制
定。

特別職の職員で非常勤
のもの報酬及び費用
弁償に関する条例の一
部改正

特別職の職員で非常勤 のもの報酬及び費用 弁償に関する条例の一 部改正

地方自治法の一部改正
に伴う条例規定の整理及
び平成十七年度策定の行
財政改革プランに基づき
特別職等の報酬金額を減
額する為。

職員の給与に関する条
例の一部改正

扶養手当の額改正

三人目以降の子ども等
に係る支給金額五千円を
六千円に引き上げる。

町税条例の一部改正

地方自治法の一部改正
に伴う改正、町税の督促
手数料の額の改正(五十

円を百円に)、軽自動車税の身障者等の減免手続きの改正、二十年度以降の減免申請手続きの簡素化)及び入湯税の課税免除規定の追加、学校行事等による利用者の課税免除)等について町税条例の改正。

災害被害者に対する町税の減免に関する条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、当該条例の引用条項等の改正。

手数料徴収条例の一部改正

手数料の種類に、住宅家屋の登録免許税軽減のための証明申請手数料を追加するため当該条例の一部改正。

乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部改正

医療費の助成対象者について、現行の「三歳未満」から「就学前」への助成拡大を図るため改める。

漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

条例第十八条第二項中の手数料「五十円」を「百円」に改める。

道路占用料徴収条例の一部改正

本案は、督促手数料五十円を「百円」に改正。

水道事業給水条例の一部改正

条例第三十六条の表中の督促手数料「五十円」を「百円」に改正。

簡易水道給水条例の一部改正

条例第三十六条の表中の督促手数料「五十円」を「百円」に改正。

消防団条例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴う条例規定の整理及び平成十七年度策定の行財政改革プランに基づき報酬金額を減額する。

太良町農林漁業振興資金の融通に伴う事業の指定及び融資額の限度は

農林漁業振興資金の事業として、柑橘・畜産・海苔を指定し、融資限度額を四千万円とする。

中尾・大野辺地に係る総合整備計画の策定

町道大野線について、平成十九年度から平成二十三年度までの五力年で、辺地対策事業として、辺地債を活用し整備する。(総事業費一億六千万円)

杵藤地区障害者自立支援審査会の共同設置の廃止

障害者自立支援法第十五条の規定に基づく市町村審査会を杵藤地区広域市町村圏組合において共同処理するため、地方自治法第二百五十二条の七

第一項の規定により設置した杵藤地区障害者自立支援審査会を廃止。

鹿島・藤津地区衛生施設組合規約の変更

地方自治法の一部改正に伴い規約の変更。

平成十八年度一般会計補正予算(第六号)

補正予算の主なものは、時間外勤務手当八百二十万円、魅力あるさが園芸農業確立対策事業費補助金千六百七十四万七千円の減額。

佐賀県西部広域環境組合の設置

佐賀県ごみ処理広域化計画に基づく西部ブロックにおけるごみ処理広域化計画に関する事務を共同処理するために佐賀県西部広域環境組合を設立。

佐賀県西部広域環境組合等負担金五十四万四千円、中山間地域等直接支払交付金百四十九万九千円、園芸作物被害対策事業費補助金千三百四十八万七千円、かんきつ等被害対策事業費の増額補助金七百三十五万八千円。

補正後の一般会計予算

の総額は歳入歳出それぞれ四十五億九千五百三十六万三千円。

平成十八年度国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

決算見込みによる歳入の主なもの。

国庫負担金の療養給付費負担金四千五百七十一万三千円の減額。

県補助金の財政調整交付金九百七十一万千円の追加。

共同事業交付金の高額医療費共同事業交付金百三十六万五千円の減額。

保険財政共同安定化事業交付金二百八十六万四千円の減額。

一般会計繰入金四百三十八万円の減額は、保険基盤安定繰入金等の事業

費。
決算見込みによる歳出の主なもの。

共同事業拠出金の共同事業医療費拠出金二百七十万円の減額。

保険財政共同安定化事業拠出金二百八十六万四千円の減額。

予備費は、本予算の調整として四千九十二万五千円の減額。

補正後の総額は、歳入歳出それぞれ十六億五千六百二十四万八千円。

平成十八年度山林特別会計補正予算(第二号)

今回補正の主な内容は、歳入では、間伐材等売却

収入百四十七万六千円の増額、森林国営保険の保険金百一十二万二千円の増額、

造林事業県補助金百九十六万八千円の減額、歳出では、経営費五十六万九千円の減額、造林事業費百三十万四千円の減額。

補正後の予算の総額は二千八百十三万六千円。

平成十八年度町立太良病院事業会計補正予算(第四号)

補正の主なもの。

支出額の確定に伴う医療費用の給与費四千三百万円の減額補正、報償費、

光熱水費等の経費千二百五十万円の減額補正及び減価償却費三千三百七十七万七千円の増額補正等総

計二千三百三十八千円の減額補正と備品、器械等固定資産購入費三百十四万

八千円の減額補正及び病院建設費三千九百十五万

円の減額。

平成十八年度簡易水道特別会計補正予算

簡易水道事業基金繰入金七百万円及び管理費九十五万八千円、建設改良増設費百万円の減額。

平成十八年度水道事業会計補正予算

原水及び浄水費六十万円、配水及び給水費百二十万円の減額。

平成十八年度漁業集落排水特別会計補正予算

一般会計繰入金五百七十七万七千円の減額。



住所

太良町大字多良三〇九七番地

氏名

森 數 憲

右の者を再認した。

二月十八日町議会議員補欠選挙において、
川下 武則氏
当選

四議員がアタック 町政へ

一般質問



日本一めざす「ファインローズ」

田口 靖議員

答 全国大会を支援する

農林漁業の一次産業がきびしい中で、めざましい農業もある。日本バラ切花協会の会員の「ファインローズ」という四人のハウスバラ

栽培農家は、日本一をめざしておられ、注目を集めている。全国大会への支援策はどうか。

町長 十一月二日、三日佐



バラのハウス園

賀県で全国大会が開かれ現地研修では二百五十人ぐらい太良町のバラ園を視察される予定だ。わが町のPRの絶好の機会であり、町内の案内人や広報たらの広報などやりたい。

町長 高度の技術が必要とするハウスバラ栽培では施設費も高額であり、助成の経過はどうか。

町長 平成七年度から平成十五年度まで、太良町バラ生産組合に対し、新世紀佐賀園芸農業確立対策事業など、県が三分の一助成、町が十分の一の二の助成をやっている。

町長 行財政改革からみできびしいが、今後の助成はどうか。

町長 高度の技術が求められるバラ栽培では、必死の努力と高額な施設費があるが、原高繁さんらの指導のもとで、第五、第六の四人につづく生産者の新規参入者には、高率な県の補助事業や低利融

資をすすめたい。

町長 町内のすぐれた農業者や食品加工業者は健在であり、町が交流の機会を作って、現場主義で新たな「たら」こだわりの事業を発掘してはどうか。

町長 山崎ハム、田嶋畜産、弥川畜産、鹿島市に企業進出した片山畜産、らくのさんなど、異業種交流を図ってきたが、町内のすべてのネットワークを活用し、産業振興に取り組みたい。

荒れた水田・みかん園の再生策急げ

町長 水田の整備については、国県の補助事業を利用して取り組む。地域づくり事業基金等の貸付制度は、今のところ考えていない。民間活力を活用した荒

廃田の整備は、事業計画の内容を十分把握し、関係者と協議して対応したい。

町長 平坦地域では、田古里川水系の水田が荒廃化が進んでおり、未整備である。

町長 土地改良課と建設課の課長を今回兼務している永淵課長の心意気を聞きたい。

町長 土地改良課長 田古里川水系は昭和五十二年当時、自然休養村整備事業で計画されたが、二十八クタールの水田が、全体としてはまとまらず、二ヘクタール程度の整備で、今日に至っている。

町長 今後の課題としたい。

町長 みかん荒廃園は、大浦土地改良区だけでなく、今後の大きい課題だが、実態把握はどうするのか。

町長 農委事務局 税務課の航空写真撮影を待つて調査したい。

町長 税務課長 航空写真撮影後のデータ化は、平成二十一年の評価替えに向けてのもので、データ化は明言できない。

町長 現場主義に徹して課を超えて、早急な実態把握を作業日程とされたい。

町長 今後課長会等で取り組体制を検討したい。



議会閉会后勉強会をしては

山口 光章 議員

教育問題について

山口 いじめ対策について教諭の対応、教育委員会の対応はどうしているのか。

いじめ、登校拒否、その他についての対応は。

教育長 いじめ対策としては、他の学校と同様であるが、まず該当生徒から事情聴取による事実確認をする、あるいは保護者を交えての話し合いをする、あるいは関係生徒への個別の指導や学校、学級全体への指導、学年集会や全校集会などで指導を実施している状況だ。

部活等でのトラブル等についても、継続的に指導してその解消に努めている。

生徒指導上の諸問題については一生懸命に取り組んでいるつもりだ。

行財政改革について

山口 改革は足元から。

町長車はなぜ黒塗りの排気量の多い車であるのか。

一〇〇〇ccクラスの車でもライトバンでも良いと思うが、何か黒塗りで排気量の多い車が必要な目的はあるのか。

町民だけが辛抱しなくてはいけないのか。

町長 一〇〇〇ccの車でライトバンでも良いと思うが、公務を果たせる機能があれば良いと思っ

ている。現在の車両が老朽化し、使用に耐えないものとなった時点で検討してみたい。

町民サービスについて

山口 町長室は一階にすべ

きた。町民が気軽に立ち寄る場所、対話の出きる場所に設置すべきだと思う。

住民相談窓口としての必要性が高く、町民との信頼度が高まると思うかどうか。

町長 私に相談したい住民

の方は連絡してくれば町長室でなくても別の部屋か場所を話そう。町長室でなくても一階



子育て支援風景

のフロアでも良い。

広域農道の利用について

山口 広域農道完成に向け

て企業の誘致にもつながる農道の利用の推進は。

町長 企業を誘致するには

沿線の交通体系の整備、適切な用地の確保が必要で、まだ太良町は十分に

少子化対策について

山口 若者定住策など我が

町の少子化における対策はどのようなものか。

平成十八年の三月議会で若者を定住させて結婚

も全線開通予定であるので、沿線地域に適した企業が

業ができるよう、まずは受け皿づくりとして用地確保に取り組んでいきたい。

も全線開通予定であるので、沿線地域に適した企業が業ができるよう、まずは受け皿づくりとして用地確保に取り組んでいきたい。

町民福祉課長 上司と相談研究をしながら進めていきたい。

今度とも一生懸命頑張っていきたいと考えている。

山口 一般質問や、議案審議終了後、執行部は新たな勉強会をしてもらいたい。

町民は結果を待っている。町民の要望を検討してもらって早く答を出して欲しい。



課の統廃合の考えは

答 プロジェクトチームで研究中

宍下 行財政機構改革をどう進めるか。

町長 行財政改革プランに従い計画的に推進する。

宍下 職員の削減は。

町長 退職時に、例えば三人退職の場合、一人を採用し段階的に削減したい。

宍下 課の統廃合の考えは。

町長 職員プロジェクトチームで課の統廃合を研究しており、その結果をふまえて結論を出したい。

宍下 五十五の行政区の格差が非常に大であるが、行政区の統合、消防部の再編による経費節減合理化の考えは。

町長 消防幹部、各支部と会合を重ね結果を出す。

宍下 下水道事業は有明海の環境汚染の対策として積極的推進を図るべきだ。本町は県下で下から二番と低く率で二一・四%

町長 合併浄化槽の上乗せについては今後下水道検討委員会の中で協議してまとめて行きたい。

宍下 竹崎集排の汚泥処理等は戸数割、人口割で算定し業者と契約しているのか。

町長 本町には三業者が汲み取り浄化槽点検等を行われているが、町内業者である太良環境は生し尿汲み取りのみの事業であり、藤津清掃は浄化槽等、太良清掃は生し尿、浄化槽等の事業をされており住民感情として地元の業者を同等に扱うべきとの不満の訴えがあり、地元の太良環境にも浄化槽等の事業も同等に許可を与えるべきだ。

町長 汲み取り、浄化槽事業は町長の許可であり、今までは三業者で話し合いをして結果次第で許可を出すとの担当の説明であったが、話し合いが付かず県組合の理事長が仲に入って結果を出すと話されたが。

木下 繁義 議員

町長 地元業者が町内の汲み取り浄化槽等の事業が出来ないことはナンセン

又と想っている、県組合の理事長との話し合いの結果内容を担当より聞いて結論を出す。

宍下 大浦中学校体育館老朽化に伴う改修事業当初予算に二億八千五百八十万、(解体、事務費含む)耐震診断で危険校舎と指定を受け文部省の認定で十九年度の予算枠を確保、



改修される大浦中学校体育館

三年の論議の結果予算計上に至っているが町長の考えは。

町長 県と面積、建築単価設計、事務等の取り扱いを協議し詳細部分は国の指導を受け設計を組んでいる。

延べ面積約千二百㎡、鉄筋二階建て、一階は駐車場三十九台である。

税の未納・滞納は

宍下 税収の対応状況は。

税務課長 一般会計現年度未納額九百三万円、滞納繰越分三千五百六十七万六千円、計四千四百七十九万六千円、国保特別会計現年度未納千五百二十九万九千円、滞納繰越二千四百六十七万七千円、計三千九百四十六万七千円、一般会計国保会計十七年度未納計八千四百七十七万四千円。

町長 今後は滞納原因、収入状況、所有資産、納税の整理、滞納者の実情を十分調査し督促、分割納付誓約、執行停止(差し押え)等、個々の状況に応じた的確な滞納整理を行う。



2月6日の新聞報道への対応は

恵崎 良司 議員

答 前向きな姿勢が必要

恵崎 二月六日、地元新聞

は本町について大見出しで「単独運営財政厳しく」と表現、さらに「五年、十年後の破たんにつながるりかねない」と職員のコメントを報道した。

町民の一人として、いかにもふがいないと言わざるを得ない。

自分の町をどのように発信するかが問われている。

このような報道がなされた経緯とその後に対応

について質問する。

町長 職員のコメントは、現在の太良町の厳しい財政状況を正直に語ったに過ぎない。

ただ、議員指摘の趣旨は、厳しくても下を向かず、前向きに町づくりを努力する姿勢を外に向かって示せということであると拝察している。

職員には危機感と同時に新しい発想を持つて前向きな姿勢を忘れないよう指導したい。

恵崎 町債四十九億円は事実だが、基金も四十億円近くあり、マイナス面のみを一方的に報道するのはおかしいし、応援するような記事は書けないのか、と鹿島支局と本社報道局へ抗議をした。

町の直接責任ではないが町民の不安をかなりあおったのも事実である。

背景には看過できない要素・課題もある。

二ユースの源は太良町であり、合併とJR問題の総括が共通認識として出来ているのか、職員

の一体感。

町長 まず職員は危機感を持ちなさいと、いかにして一般財源を抑えて国庫補助を利用して財政運営に当たるか、新しい発想を持つて私に上げなさいと訓示した。

恵崎 合併とJR問題の二大政治問題の決着は、地方自治の根幹である二元代表制、つまり直接選挙で選ばれた町長をトップとする執行部と別個に直接選挙で選ばれた議員が構成する議会の集合体、まさに太良町政府の団体意思という認識をしている。

現に、自立にむけた取り組みとして行財政改革実行中の真つただ中で、団体意思に基づく体制、つまり単独運営、これは根幹の問題であるが、この体制に造反するような職員の発言が出ているのをどう考えるのか。

町長 まだ単独運営で行くというのが浸透していないのではとの思いもある

ので、そこを浸透させていきたいと思っている。

恵崎 ニユース源は職員と

というのが情けない。

プロ職員としての自覚、団体意思に対する忠誠心を自覚してもらいたい。

総務常任委員会六人は十八年一月福島県の塙町と矢祭町、十一月に長野県の松川町と下條村すべて単独運営を選択した四町村を視察したが、それぞれに独自の施策もさることながら、その気になって取り組んでいるのを見聞して、やればできるのではないかと実感した。

経費縮減路線は当然としても、縮み思考ばかりに捕らわれず、執行部も先進地の視察研修をやるべきと考えるが。

町長 実地見聞は大事なので視察研修も考慮していきたい。

恵崎 危機感が必要だが、それだけでは希望は持てない。

危機感とプラス発想は矛盾しないので、プラス発想を持つてほしい。

広く見聞すれば、世界観も変わってくるかもしれない。

（第三種郵便物認可）

単独運営 財政厳しく

町債の残高49億円に 固定資産税増見送り 町立病院赤字1億円

行革プランの実行急務

……町長強硬を前に

町民の一人として、いかにもふがいないと言わざるを得ない。

自分の町をどのように発信するかが問われている。

このような報道がなされた経緯とその後に対応

このように、単独運営の厳しさを伝える報道は、町民の不安をあおる恐れがある。また、基金も四十億円近くあり、マイナス面のみを一方的に報道するのはおかしいし、応援するような記事は書けないのか、と鹿島支局と本社報道局へ抗議をした。

町の直接責任ではないが町民の不安をかなりあおったのも事実である。

背景には看過できない要素・課題もある。

二ユースの源は太良町であり、合併とJR問題の総括が共通認識として出来ているのか、職員

の一体感。

まず職員は危機感を持ちなさいと、いかにして一般財源を抑えて国庫補助を利用して財政運営に当たるか、新しい発想を持つて私に上げなさいと訓示した。

合併とJR問題の二大政治問題の決着は、地方自治の根幹である二元代表制、つまり直接選挙で選ばれた町長をトップとする執行部と別個に直接選挙で選ばれた議員が構成する議会の集合体、まさに太良町政府の団体意思という認識をしている。

現に、自立にむけた取り組みとして行財政改革実行中の真つただ中で、団体意思に基づく体制、つまり単独運営、これは根幹の問題であるが、この体制に造反するような職員の発言が出ているのをどう考えるのか。

まだ単独運営で行くというのが浸透していないのではとの思いもある

ので、そこを浸透させていきたいと思っている。

ニユース源は職員と

というのが情けない。

プロ職員としての自覚、団体意思に対する忠誠心を自覚してもらいたい。

総務常任委員会六人は十八年一月福島県の塙町と矢祭町、十一月に長野県の松川町と下條村すべて単独運営を選択した四町村を視察したが、それぞれに独自の施策もさることながら、その気になって取り組んでいるのを見聞して、やればできるのではないかと実感した。

経費縮減路線は当然としても、縮み思考ばかりに捕らわれず、執行部も先進地の視察研修をやるべきと考えるが。

実地見聞は大事なので視察研修も考慮していきたい。

危機感が必要だが、それだけでは希望は持てない。

危機感とプラス発想は矛盾しないので、プラス発想を持つてほしい。

広く見聞すれば、世界観も変わってくるかもしれない。



約1億円の集積赤字を抱え厳しい経営状況が続く町立太良病院

（佐賀新聞より）

を公表します
議長交際費
平成18年度後期分の

平成18年度後期議長交際費

区分	支出日	支出金額	支出の内容
御祝儀	10月16日	5,000	肥前寒蘭展示会
"	1月17日	5,000	鹿島青年会議所新年会
会費	11月21日	4,000	国会議員との懇談会会費
香典	1月3日	30,000	前町長百武豊氏の葬儀に際しての香典
供物	1月3日	20,000	前町長百武豊氏の葬儀に際しての供花
合計	5件	64,000	(18年度合計 13件 109,000円)

議会のあゆみ

1月～3月

1・31	1・26	1・23	1・22	1・21	1・20	1・18	1・17	1・10	1・7	1・5	1・4			
検討会	多良岳材生産販売 員会	政経セミナー 議会だより編集委 員会	政視察	経済常任委員会行	青少年育成町民大 会	町内駅伝大会	故百武氏追悼式	新春経済講演会	佐賀県町村議会議 長会	鹿島青年会議所会 員会	建設常任委員会	成人式		
3・5	3・2	3・1	2・28	2・27	2・23	2・22	2・17	2・15	2・13	2・7	2・2	2・1		
3月定例会招集	総務常任委員会	議会運営委員会	多良高校卒業式	特別研修会	総務常任委員会	新任議員勉強会	政視察(大阪・熊 取町)	建設常任委員会行	政経セミナー	退職手当組合議 会	経済常任委員会勉 強会	議員全員協議会	議会だより編集委 員会	
3・25	3・24	3・16	3・15	3・14	3・13	3・9	3・7	3・7	3・7	3・7	3・6	3・6		
多良婦人会総会	大浦地域婦人会 議	3月定例会議案審 議式	多良・大浦小卒業 式	3月定例会議案審 議	3月定例会議案審 議	3月定例会議案審 議	3月定例会議案審 議	3月定例会一般質 問	議員全員協議会	多良・大浦中卒業 式	多良・大浦小卒業 式	議員全員協議会	小型動力ポンプ引 渡式	
													九州新幹線鹿児島 ルート西九州ルー トと佐賀県の地域 振興を考える講演 会	佐賀県町村議会議 長会

編集室より

去る二月十八日、町民の関心のまのであつた町長、町議の補欠選挙があり、町民有権者の投票義務を自覚され八三・五%と高い投票率となりました。
新町長に大きな期待が寄せられます。
更に四月八日知事、県議選は約八二・六%で県下トップの投票率で十六年ぶりに太良町から県議が誕生しました。

県最南端にある太良町民の負託に応えるべく精一杯努力と汗を流していただきたいと思います。

編集委員会

委員長	木下 繁義
副委員長	岩島 好
委員	恵崎 良司
	久保 繁幸
	浜崎 敏彦
	見陣 泰幸
	川下 武則